

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	21965
事業名	エイズ等予防対策費					
評価担当課	所 属	保)保健所 感染症総合対策課			電話番号	011-622-5199
施策名	あらゆる世代の市民や企業の健康への意識が高まり、健康づくりや					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	令和2年から令和4年の全国のHIV感染者届出数の内の発病してからの割合は29. 6%で、札幌市は全国と比較し同程度の水準となっているが、多くの市民にとってHIV検査を受けやすい環境を整備することは、先述の割合が低下することにつながる。 また、HIVに対する差別偏見の解消のための啓発を実施することで、HIV検査を受けることに対するハードルも低下し、受検率の向上につながる。
	事業内容(何を実施し)	エイズ等の感染予防及びまん延防止を図るため、予防啓発事業や検査相談事業を行う。 ①エイズ対策推進協議会の設置:「札幌市エイズ対策推進協議会」を運営する。 ②エイズ対策推進のための研修・人材養成事業:エイズ対策に係る研修を職員が受講する。 ③啓発普及活動事業:世界エイズデーにおける各種予防啓発活動等を行う。 ④HIV検査及び相談業務に関する事業(各区保健センター及び民間運営の検査センター) ⑤梅毒抗体検査及び相談業務に関する事業(各区保健センター)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	性感染症の感染予防及びまん延防止を図るため、性感染症・エイズ・HIVについて正しい情報・知識を普及し、偏見の払拭を図るとともに、検査を受けることへの抵抗を軽減し、受検を促進する。
	他都市の状況	他都市においても、地域の実情に応じて各種予防啓発事業や検査相談事業を実施。
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	13,598 千円	うち特定財源	2,824 千円	正規職員業務量	1.1 人工
令和5年度予算額	15,000 千円	うち特定財源	4,000 千円	正規職員業務量	2.6 人工
令和5年度決算額	13,219 千円	うち特定財源	3,848 千円	正規職員業務量	2.6 人工
令和6年度予算額	17,000 千円	うち特定財源	4,427 千円	正規職員業務量	2.6 人工

指標	アウトプット活動指標1	HIV検査件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1405	1900	1612	2188	2500	2500
	↓						
	アウトカム成果指標1	直近3年間の感染者届出数のうち、発病してからの届出数の				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		27.1	26.6	33.3	29.7	28.1	26.5
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和4年から令和5年にかけて、HIV検査件数は増加したが、発病してからの届出数の割合は高くなった。コロナ禍で受検控えしていた者の感染の発見が遅くなったことが考えられる。より多くの者の受検を促し発病してからの届出数の割合の低下を目指す。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	夜間、休日HIV検査の予約枠を拡大。また、医療機関向けの学術講演会を医師会と協働で開催。さらに、新聞社やラジオ局の協力を得て普及啓発活動を新たに展開した。
来年度以降の方向性	令和5年度は令和4年度と比較し夜間・休日HIV検査の予約枠の拡大を図ったが、全ての回で予約が満員となった。検査を希望する者が検査を受けられるよう、更なる検査枠拡大を図る。普及啓発は、引き続き医師会や報道機関等と連携を図り、医療機関と市民の両側から啓発活動を展開する。